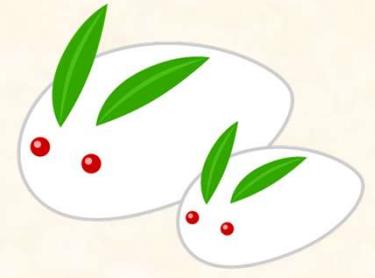


萌丘東幼稚園
萌丘東保育園 ほいくだより

2023



ひがしっ子 2月



園長コラム

1月末から2月上旬にかけての感染拡大においては大変お騒がせ致しました。はじめての園内状況ということで、皆様におかれましては家族内や仕事でのやりくりにご苦労されたことと思います。改めてご協力にお礼申し上げます。また、コロナ情勢も来春にかけて変化させていく流れができつつあります。国の方針を受けて園の方針も決定していく考えです。それまでは引き続き現状のエチケットで園利用をお願い致します。

さて、3学期も残すところあと少し。卒園式までは1か月をきってしまいました。はじめて家族以外の世界。幼稚園と保育園に入園したこども達が次のステップに進んでいくことになります。嬉しくもあり悲しくもあり、毎年のこととは言え、慣れないものです。私の立場でそうなのですから、目の前でこども達の行動や感情を手助けしてきたクラス担任をはじめとした保育者にとっては、言葉では言いかえれない残り1か月となるでしょう。責任もって送り出してくれることをお約束いたします。

私自身は今年度を振り返りながらより良い東園となるように今後の計画を立案している時期でもあります。「こども・保護者・保育者」にとってより良い東園になるためにはどうするといのかとすることを常に考えながら過ごしています。簡単なことではありませんが、思いを同じくする保育者たちと共に、より良い東園をつくっていきたいと思っております。

こどもにとって

0～2歳児は大きな行事もなく穏やかな日々が続いていますが、生活習慣などを身につけているこども達にとっては、穏やかにみえるのは大人目線であって、こども達にとっては奮闘の日々ともいえるでしょう。

頑張るためには安心できる日常という基盤が欠かせません。だからこそ毎日欠かさずやる習慣などを大人がしっかりまもって、子どもたちの奮闘を応援してあげましょう。





久しぶりの雪の中

今年は雪遊びをすることができました。自粛でできていなかった節分をやったり、外で遊びまわったりと子ども達は大はしゃぎで楽しんでいました。雪という大人が買い与えてあげることでできない特別なできごとが特別な時間を作り出せるのではないのでしょうか。道路にはたくさん積もることもなく、子どもにも大人にもいい一日になりました。



いよいよ近づいてきました

長く自粛をお願いしたこともあり、節分やひな祭りなどの製作がたくさんあったようです。少し急ピッチにせざるを得なかったのは残念ですが、一つ一つの製作をお話を聞いて真剣にやっていたのが印象的でした。4月のころとは違ったクラスの雰囲気に進級や卒園が近づいていることが感じられます。





切磋琢磨とは言ったもの

いつも近くに友達がいます。園に来るまでは兄弟がいる子であっても、年齢差もあり、対等の友達とは違うものです。家では通用するわがままも友達には通用せずに、どうしていいのかわかなかったりする体験も掛け替えのないものです。東園でいっぱい笑って、いっぱい泣いて卒園して行ってほしいと願っています。

